民報 あばしり
NO.1238
10月13日号
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
TEL 四三一－四四五八
FAX 四三一－四四五七

9月議会　松浦議員の一般質問
投票率向上の取組について

第３回定例会の一般質問は、９月10、11日の２日間行われました。

松浦議員は11日に３項目について質問を行いました。

松浦議員…この間、投票率が低下しているが、市選管として投票率向上向けた取組について質問。

選管事務局長…各種選挙において、市本庁舎前に投票啓発看板の設置、公報あばしりによる選挙期日・期日前投票期間等の周知、ホームページによる選挙周知と投票喚起など行ってきたと答弁。

松浦議員…投票所28ヶ所あるが、投票所ごとの投票率が異なる要因について質問。

選管事務局長…過去５年間の選挙で全体の投票率と各投票所の投票率を比較すると一つの投票所を除いて市内地区では、４つの投票所が全ての選挙で下回っている。各投票所では有権者が異なっており、有権者の少ない郊外地区では、投票率の高い高齢者が多く、有権者の多い市街地区は、年齢層が多種多様であり、地域の状況にもよるが、投票率が低い投票所の要因を分析することは困難だ。

松浦議員…この間、投票率が低下しているのもかかわらず投票所が減っているが、減らした理由は何か。

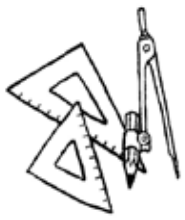
選管事務局長…近年では、平成28年に女性センターの老朽化により施設廃止に伴い廃止したが他に代替えとなる施設がなく市役所に統合した。

松浦議員は鉄南地域への女性センターに代わる投票所の設置を求めました。

松浦議員…次に投票所の区域割について、駒場南８丁目からは、南コミセンでの投票はできないのか。鱒浦では、鱒浦集会場がバリアフリーになっていない。駐車場が狭いなど、いくつかの地域から投票所の区域割りについて、改善を求める意見が出ているが、見直す考えはないのか。

選管事務局長…投票所に区域割についての意見は直接はないが、地域の総意として要望があればケースバイケースで対応したい。

※詳しくは共産党議員団の「議会だより」を発行しますので、そちらをお読みください。



「ストップ戦争法！網走の会」
10月の行動予定のお知らせ

○17日・・「憲法リーフ」配布
集合場所・全日本年金者組合事務所
時刻・10時
○定例宣伝・・19日（土）11時から
○緊急憲法宣伝カーの運行
期間21日～25日まで
ご支援よろしくお願いします

松浦さとし奮戦メモ！

先週は、１日～４日まで総務経済委員会の行政視察に行ってきましたが、４日間とも30度超えの気温には疲れました。

出発時の網走の気温は15度で、中部空港に到着すると気温は30度でした。翌日は、コミュニティバス運行事業で岐阜県美濃加茂市の視察でしたが気温30度、翌日の大阪市ではＬＧＢＴ（性的少数者）支援の調査でしたが30度超え、最終日の新潟県長岡市は、市役所のまちなか移転での調査でしたが、この日も台風の崩れの温帯低気圧のフェーン現象で30度超えでした。台風からは逃れたとしても雨にあたるのでないか心配でしたが、避けることができました。

３市の先進的な取り組みを聞くことができて、調査目的も十分果たすことができたと感じています。今後、今回の調査を活かしながら議会活動をしていきたいと考えています。

村ちゃんが駆ける

ラグビーワールドカップが面白い。日本代表がロシア、アイルランド、サモア戦で勝った。巨漢の敵に対して２人がかりでタックルし、すぐに起きあがる姿は「負けない」という凄味が伝わってくる。網走合宿では、40分間ほとんど休むことなくボールをつなぎ続ける練習をしていたと聞いた。日本の勝利は体力と精神力を鍛えた結果なのだ。

文教民生委員会が８日～11日の日程で岡山県備前市、神奈川県大井町、茨城県筑波大学を視察する。お年寄りが老後を生き生きと暮らせるように様々な取り組みをしている様子をじかに見て、網走にどう生かせるかを考える機会にしたい。

13日の網走市民駅伝ではアンカーの大役を引き受けてしまった。毎晩、ワールドカップの試合を見ると刺激を受けてひとりでに走り出す自分がいる。視察中もなるべく歩くようにしてレースに備えたい。日本代表が13日のスコットランド戦で勝つことを信じて走る。

流氷

「令和の新時代の国創り」「全世代型社会保障」「沖縄の皆さんの皆さんの心に寄り添う」とどんな美辞麗句を並べても、これまでの安倍首相を見ていると信用などできません。それどころか、臨時国会の所信表明で改憲の旗を振る姿は、正真正銘の独裁者です。▼この10月から消費税が10％。弱い者いじめの大増税は福祉に使われず、医療も介護もズタズタに。減り続ける年金の対策もなし。年金生活者支援給付金に至っては、住民税が家族全員非課税で４８０ヶ月(40年)の納付がベースで、だれでも月５千円給付でない制度で、生活保護利用者は、収入認定される始末です。保護費の削減が２年連続となり、これから寒い冬とダブルパンチでどうして健康で文化的な生活が送れるのか？▼私達生健会でも、いのちのとりで裁判、消費税10％増税の撤回、税運動の年内準備など、他団体と共闘して行動していきます。この流氷コラム読者や会員、支援者の声を聞いて益々組織拡大してアベ暴走政治ストップの旗のもと大運動を進めていきます。

北見生活と健康を守る会
副会長　神田優